

高1生 数学

学習進度に応じて、4つの講座から組み合わせて受講してください（1講座からの受講もできます）。

科目・レベル	カリキュラム・テキスト・ポイント	レベルチェック
数学α系 『図形と方程式演習・三角比演習』 3レベル設定 ① α ② α1 ③ α2	◆『図形と計量【数学Ⅰ】（三角比）』と『図形と方程式【数学Ⅱ】』の既習の方を対象に、演習授業を行います。（全4日間） 1日目・2日目：図形と方程式演習 3日目・4日目：三角比演習 ◆テキストは授業時に配付します。 ◆α系の通常授業を受講している方は、必ずご受講ください。 ◆数式を使うと、どのように様々な図形問題が解けるのか。この機会に経験しましょう。	90点以上→αレベル 50点以上→α1レベル 20点以上→α2レベル （レベルチェック問題はα①）
数学α系 『数列演習』 4レベル設定 ① α ② α1 ③ α1α2 ④ α2	◆『数列【数学B】』の既習の方を対象に、演習授業を行います。（全4日間） ◆数列の基本事項を演習を通じて確認しながら、4日目には、与えられた条件に即して自ら漸化式を立てる問題を演習します。これは難関大学の入試でも頻出ですので、ぜひ、この機会に理解しておきたいテーマです。 ◆テキストは授業時に配付します。 ◆α系の通常授業を受講している方は、必ずご受講ください。 *③α1α2：α1とα2の合同クラスです。横浜校でのみ開講します。	90点以上→αレベル 50点以上→α1レベル 20点以上→α2レベル （レベルチェック問題はα②）
数学H系 『三角関数』 3レベル設定 ① H ② HH1 ③ H1 ②HH1：HレベルとH1レベルの合同クラスです。	◆『三角関数【数学Ⅱ】』が未習の方を対象に、基本事項の導入から始めます。（全4日間）三角比で扱ったsin、cos、tanについて、更に踏み込んだ計算や公式を扱います。公式が多いので、腰を据えて学んでいきましょう。 ◆テキストは授業時に配付します。 ◆振替をする場合、1日目～4日目まで順番を変えずに受講してください。 ◆新たに、通常授業で数学の受講をご検討の方は必ずご受講ください。ただし、『2次関数【数学Ⅰ】』を学習済みであることを前提とします。 ◆H系の通常授業を受講している方は、必ずご受講ください。 ◆α系の通常授業を受講している方は、2021年中3生Fターム『三角関数【数学Ⅱ】』と同一内容です。また、2021年高1生春期講習特別講座『三角関数』と同一内容です。	70点以上→Hレベル 30点以上→H1レベル （レベルチェック問題はH）
数学H系 『指数関数・対数関数』 3レベル設定 ① H ② HH1 ③ H1 ②HH1：HレベルとH1レベルの合同クラスです。	◆『指数関数・対数関数【数学Ⅱ】』が未習の方を対象に、基本事項の導入から始めます。（全4日間）通常授業Eターム（8/30開講）からH系では数列を扱いますが、この分野の計算規則をよく使います。色々な分野と関わるので、4日間で習得しましょう。 ◆テキストは授業時に配付します。 ◆振替をする場合、1日目～4日目まで順番を変えずに受講してください。 ◆新たに、通常授業で数学の受講をご検討の方は必ずご受講ください。ただし、『2次関数【数学Ⅰ】』を学習済みであることを前提とします。 ◆H系の通常授業を受講している方は、必ずご受講ください。 ◆α系の通常授業を受講している方は、2021年高1生Gターム『指数関数・対数関数【数学Ⅱ】』と同一内容です。	70点以上→Hレベル 30点以上→H1レベル （レベルチェック問題はH）
特別講座『数列』	◆『数列【数学B】』では、小学生のときに会った“数の列”を数式を用いて表現し、その扱い方を学びます。和を求めたり、前後関係のみから“数の列”を決定したりすることは、場合の数・確率でも応用されますし、様々な自然現象の記述にも使えます。この道具を使いこなせることが特定の入試問題を解く上での前提になります。この講座を受講することで「数列演習」を問題なく受講することができます。（全4日間） ◆未習の方を対象に、入試を見据えて、基本事項の導入から始めます。 ◆テキストは授業時に配付します。 ◆レベルチェックはありません。 ◆横浜校でのみ開講します。 ◆横浜校での高1数学α系の通常授業への入室を検討されている方で、『数列【数学B】』が未習の方は、ぜひご受講ください。高1数学α系Gターム『数列【数学B】』を受講した方は、内容が重複するので受講の必要はありません。	